

\*: 2023年1月  
(使用上の注意改訂)

使用前にこの説明文書を必ずお読み下さい。  
また、必要な時に読めるよう大切に保管して下さい。

総合かぜ薬(ピリン系)

第2類医薬品

# プレコールCR持続性錠

つらいかぜ症状に、朝のめば夜まで効果が持続。

## プレコールCR持続性錠の特徴

- 2つの解熱鎮痛成分(イソプロピルアンチピリン、アセトアミノフェン)をはじめ7つの有効成分が、のどの痛み、発熱などのつらいかぜ症状にバランスよく効き目を発揮します。
- 独自の製剤技術(Control Release Technology)により、体内での溶け方が異なる2つの層(速溶層と持続層)を実現しました。
- 朝・夜1日 2回の服用、のみやすい錠剤タイプの総合かぜ薬です。



## ⚠ 使用上の注意

**⊗ してはいけないこと** (守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

1. 次の人は服用しないで下さい。
  - (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人
  - (2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人
  - (3) 15歳未満の小児
2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないで下さい。  
他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等)
3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないで下さい。(眠気等があらわれることがあります)
4. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けて下さい。
5. 服用前後は飲酒しないで下さい。
6. 長期連用しないで下さい。

**相談すること**

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。
  - (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人
  - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人
  - (3) 高齢者
  - (4) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
  - (5) 次の症状のある人：高熱、排尿困難
  - (6) 次の診断を受けた人：甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障、呼吸機能障害、閉塞性睡眠時無呼吸症候群、肥満症

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、はれ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、上腹部痛、胸やけ
精神神経系	めまい
泌尿器	排尿困難
その他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
* 薬剤性過敏症症候群	皮膚が広い範囲で赤くなる、全身性の発疹、発熱、体がだるい、リンパ節(首、わきの下、股の付け根等)のはれ等があらわれる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらくとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。
呼吸抑制	息切れ、息苦しさ等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。  
便秘、口のかわき、眠気
4. 5~6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。



## 効能・効果

かぜの諸症状(のどの痛み、発熱、鼻水、鼻づまり、せき、たん、悪寒、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み、くしゃみ)の緩和

## 用法・用量

次の量を水又はお湯で服用して下さい。

年齢	1回量	1日服用回数
成人(15歳以上)	3錠	2回 (朝・夕食後なるべく30分以内)
15歳未満	服用しないで下さい。	

〈用法・用量に関連する注意〉

(1)用法・用量を厳守して下さい。

(2)錠剤の取り出し方

右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押し、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用して下さい。  
(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります)



## 成分・分量

本剤は、白色のフィルムコーティング錠で、6錠中に次の成分を含有しています。

成分	分量	はたらき
イソプロピルアンチピリン(ピリン系)	300mg	熱を下げ、のどの痛み、頭痛、関節の痛みをやわらげます。
アセトアミノフェン	450mg	
クロルフェニラミンマレイン酸塩	6mg	鼻水、鼻づまり、くしゃみをおさえます。
ジヒドロコデインリン酸塩	18mg	せきをしずめます。
dl-メチルエフェドリン塩酸塩	60mg	せきをしずめ、たんをおさえます。
カンゾウエキス末	90mg (原生薬として750mg)	のどや鼻の粘膜の炎症をしずめます。
無水カフェイン	75mg	頭痛をやわらげます。

添加物：乳糖、ヒドロキシプロピルセルロース、セルロース、ステアリン酸Mg、ヒプロメロース、メタクリル酸共重合体I、酸化チタン、マクロゴール、タルク、ステアリン酸、カルナウバロウ

## 保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管して下さい。
- (2) 小児の手の届かない所に保管して下さい。
- (3) 他の容器に入れ替えないで下さい。(誤用の原因になったり品質が変わります)
- (4) 表示の使用期限を過ぎた製品は使用しないで下さい。

本品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記にお願い致します。

第一三共ヘルスケア株式会社 お客様相談室  
〒103-8234 東京都中央区日本橋3-14-10  
電話 0120-337-336  
受付時間 9:00~17:00(土、日、祝日を除く)

<https://www.daiichisankyo-hc.co.jp/>

02®登録商標

製造販売元  
第一三共ヘルスケア株式会社  
Daichi-Sankyo 東京都中央区日本橋3-14-10